

## ■まちづくりの将来像（たたき台）について

### ●まちづくりの将来像の設定に対する考え方

「社会情勢」や「市が抱える課題」、これまでの特別委員会での意見を踏まえ、改定計画の将来像を設定する上での重要な視点を下記に整理します。

- 改定都市計画マスタープランは、多摩市の将来に向けて、市の都市整備分野の方針を定めるものです。
- 多摩市は現在人口減少に転じる転換期であるとともに、地球温暖化に伴う気候リスクの増大など、この改定都市計画マスタープランは、これまでの都市計画マスタープランとは大きく役割が変化してきています。
- 多摩市は、「整備された都市基盤」、「豊かな緑や水が身近にある自然環境」、「良質な住宅ストック」、「地域単位の活発な市民活動」など、貴重な資源を有しています。
- 一方で、多摩都市モノレールの町田方面延伸や南多摩尾根幹線道路の整備、施設・設備の老朽化、少子高齢化などにより、都市に求められる機能が変化しています。
- そのため、今ある良好な**既存ストック**を有効に活用しつつ、時代の変化に合わせた**適切な維持更新**や**機能転換**により、**暮らしやすく持続可能なまち**に変化していく必要があります。
- こうした持続可能なまちの実現には、CN（カーボンニュートラル）やGX（グリーントランスフォーメーション）など**環境問題への対応**による脱炭素型まちづくりや、DXやMaaSをはじめとした**先端技術**など、新たな視点も積極的に取り入れたまちづくりも求められています。

### ●将来像（案）の設定

上記の考え方を踏まえつつ、第六次多摩市総合計画基本構想（素案）等で掲げられているキーワードを用いて、将来像を表現するキャッチフレーズ案を検討しました。

**現行計画 将来像**

安全で活気と魅力あふれる**まち** 多摩

↑

**【第五次多摩市総合計画基本構想】**

●将来都市像  
「みんなが笑顔 いのちにぎわうまち 多摩」

●目指すまちの姿

- 1 子育て・子育てをみんなで支え、子どもたちの明るい声がひびくまち
- 2 みんなが明るく、安心して、いきいきと暮らしているまち
- 3 みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち
- 4 働き、学び、遊び、みんなが**活気と魅力**を感じるまち
- 5 いつまでもみんなが住み続けられる**安全**で快適なまち
- 6 人・自然・地球 みんなで環境を大切にすまち

**改定計画 将来像（案）**

安全に暮らし 育み 継承する 持続可能な**まち** たま

**【安全】**

- 強靱な都市の形成（防災拠点機能の向上、事前復興まちづくり等）
- 都市基盤の適切な維持・更新
- 老朽化する団地・マンションへの対応
- 安心して快適に住み続けられる

**【暮らし】**

- 生活環境が整ったまち（交通、買物、バリアフリー等）
- 健幸でいきいきとかがやけるまち
- 活気・にぎわいのあるまち
- 安心して暮らせる

**【育み】**

- 市民協働のまちづくり
- 民間活力の導入による新たな価値・魅力の創造
- 社会情勢やニーズへ対応した成長
- 新たな取組や先端技術への挑戦
- 地域で学びあい、活動し、交流する

**【継承】**

- 豊かな緑や水の維持・保全
- 多摩市の良さの継承
- 既存ストックの維持・更新・機能転換
- 将来を見据えたハード部門の計画

**【持続可能】**

- 持続可能な社会の実現
- 循環型社会への展開
- 環境問題への対応
- 住み続けられるまち
- グリーンインフラの推進
- 水とみどりとくらしが調和

●CN（Carbon Neutrality／カーボンニュートラル）：  
2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言した。二酸化炭素をはじめとする温室効果ガス排出量から、植林や森林管理などによる吸収量を差し引き、合計を実質的にゼロにすることを意味している。

●GX（Green Transformation／グリーントランスフォーメーション）：  
脱炭素社会の実現に向けて、化石エネルギー中心の産業構造・社会構造を、グリーンエネルギー中心へ転換するための変革やその実現に向けた活動のこと。

●DX（Digital Transformation／デジタルトランスフォーメーション）：  
デジタル技術を活用して、商品・サービスや仕事の仕方を変革し、人々の生活をよりよい方向に変化させること。

●MaaS（Mobility as a Service／マース）：  
複数の公共交通及びそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済などを一括で行うサービスで、観光や医療など目的地における交通以外のサービスなどとの連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する手段のこと。

**【第六次多摩市総合計画基本構想（素案）】**

●将来都市像  
「つながり 支え 認め合い いきいきと かがやけるまち 多摩」

●分野横断的に取り組むべき重点テーマ

- 1 環境との共生
- 2 健幸まちづくり
- 3 活力・にぎわい

●分野別の目指すまちの姿

- 1 子どもの成長をみんなで支え、ともに生きるまち
- 2 支え合いのなかで、いつまでも**安心して暮らせる**まち
- 3 **地域で学び合い、活動し、交流**しているまち
- 4 みんながいきいきと働き、集い、**活気と魅力**あふれるまち
- 5 みんなが**安心して快適に住み続けられる**まち
- 6 地球にやさしく、**水とみどり**とくらしが調和したまち